

## 「安全・訓練等の実施」に関する特記仕様書

### 1. 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等に付いて、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当り半日以上時間を割当て、下記の項目から実施内容を選択し安全・訓練等を実施するものとする。

- ①安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- ②本工事内容等の周知徹底
- ③土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- ④本工事における災害対策訓練
- ⑤本工事現場で予測される事故対策
- ⑥その他、安全・訓練等として必要な事項

### 2. 安全・訓練等に関する施工計画書の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督職員に提出するものとする

### 3. 安全・訓練等の実施状況報告

安全・訓練等の実施状況をビデオ・写真等又は工事報告(工事月報)に記録し報告するものとする。

### 4. 事故報告

工事の施工中に事故が発生した場合（死亡事故又は休業4日以上を負傷事故）、監督員が指示する様式(事故発生報告書)で指示する期日までに、提出しなければならない。

### [参考]

特記仕様書の実施項目の具体的内容は、以下を参考にするものとする。

#### 1. 安全活動のビデオ等による視覚教育

#### 2. 法律等の周知

- ・労働安全衛生法
- ・土木工事安全施工技術指針
- ・道路工事現場における標識施設等の設置基準
- ・維持修繕工事保安施設設置基準
- ・建設工事に伴う騒音振動対策技術指針
- ・建設工事公衆災害防止対策要綱

#### 3. 工事内容等の周知

- ・仮設材(足場、支保工、矢坂、H形鋼、山留工、覆工板等)
- ・設計上における留意点の周知
- ・その他、設計上における留意点の周知

#### 4. 安全衛生活動に関する手法の習得

- ・KY活動の必要性和その手法
- ・ツールボックスミーティングの必要性和その手法
- ・安全誘導のため講習
- ・その他の安全衛生活動に関する講習

#### 5. 前月の反省と評価

- ・作業における不安全行動の指摘
- ・作業における注意事項(危険作業のある場合は、避難方法の周知)
- ・上記に対して、労働者からの意見発表
- ・事故発生の場合は、事故の分析と改善策の発表

#### 6. 当月の作業内容と目標の徹底

#### 7. 上記に係わる実践的指導

その他安全衛生対策として必要な事項